

第7回東通村総合教育会議議事録

1. 日 時 令和元年12月12日(木) 13:00~15:00

2. 会 場 東通村交流センター3階「委員会室」

3. 出席者 東通村総合教育会議構成員

東通村長 越 善 靖 夫

東通村教育委員会 教育長 奥 島 涼 子

東通村教育委員会 教育長職務代理者 鈴 木 眞 治

東通村教育委員会 教育委員 橋 本 健 一

東通村教育委員会 教育委員 北 川 幹 雄

東通村教育委員会 教育委員 大 槻 淳

東通村総合教育会議オブザーバー

東通村副村長 林 春 美

東通村総務課 課長 小笠原 伸 一

東通村いきいき健康推進課 課長 三 國 正 人

東通村教育委員会事務局 参事・教育次長 大 舘 富 雄

東通村教育委員会事務局教育総務課 課長 角 本 晃

東通村教育委員会事務局教育指導課 課長 畑 山 元 康

東通村教育委員会事務局給食センター 所長 畑 中 稔 朗

東通村総合教育会議事務局

東通村経営企画課 課長 菊 池 敢 世

東通村経営企画課地域戦略G 総括主査 西 谷 聖 子

東通村経営企画課地域戦略G 主査 四ツ谷 隆 徳

東通村経営企画課 臨時職員 大久保 美 里

4. 傍聴者 なし

## 5. 会議内容

(1) 開 会 司会：経営企画課 地域戦略G 総括主査 西谷 聖子

(2) 村長挨拶 村長 越善靖夫

本日、第7回目の総合教育会議の開催をお願いしたところ、教育委員の皆様には、何かとご多用の中、ご出席頂き誠に感謝申し上げます。また、日頃、村行政運営の各般に亘り、ご理解並びにご協力を賜り、重ねてお礼を申し上げます。

さて、前回の会議では、第2期教育大綱の決定のほか、村の最重要課題である教育デザインの推進に向け、なお一層、努力していくこと等を協議・確認し、大変、有意義な意見交換をすることができました。これを受け、教育委員会では、東通村教育大綱の目指すべき方向に向け、教育デザインをしっかりと実行しているものと存じます。

第7回目となる今回の会議は、第2期教育大綱のもと、東通村の教育の現状と課題、そして、教育デザインの取り組み状況等について、意見交換をさせて頂くものであります。

教育委員の皆様においては、是非とも忌憚のないご意見を賜るようお願い申し上げ、開会に当たっての挨拶とします。

(3) 議事録署名者指名 議長：村長 越善靖夫

それでは、議事に入る前に、事務要領第4条第2項において、会議録の署名について、本会議の構成員から指名することになっておるので、奥島教育長と鈴木教育長職務代理者を指名しますので、宜しくお願いします。

(4) 議 事 議 長：村長 越善靖夫

○議 長：村長 越善靖夫

「議事（1）東通村教育の現状と課題について」事務局の説明を求めます。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

本日の総合教育会議では、議事（1）東通村教育の現状と課題について、昨年度に引き続き、村長と教育委員により、東通村の教育の現状と課題について、ざっくばらんに議論、即ち協議・調整をして頂き、協議・調整のなされた内容については、事務レベルで対応し、令和2年度当初予算等への反映や、今後の教育行政等に反映させていきたいと存じます。

○議 長：村長 越善靖夫

只今、事務局より、今回の会議では、ざっくばらんに「東通村教育の現状と課題」について議論し、議論した内容は、事務レベルで早急に調整し、今後の教育行政に反映していきたいとの説明がありました。

昨年度の総合教育会議でも、様々な教育の現状と課題、対策等について、議論を行いました。今回の会議でも、総合教育会議の趣旨である教育条件の整備等、重点的に講ずべき施策等について議論をして参りたいと思いますが、教育委員の皆さん宜しいでしょうか。

○議長：村長 越善靖夫

それでは、まず、私から、教育委員の皆さんにざくばらんに聞きたいと思います。議論の主な内容は、1.教育デザインの進捗について、2.学力の向上について、3.中学校・高校卒業後の進路について、4.保護者の教育意識の向上についてです。

教育デザインは30のデザインで構成されているが、未だ実施されていないデザインがあります。ここ数年、新たなデザインの実施がなされておらず、ストップしているように見受けられますが、教育デザインの進捗はどのようになっているのか。また、実施されていないデザインは、実施に向けて検討しているのか。検討していないのであれば、どのような理由なのか教えていただきたい。

○鈴木教育長職務代理者

教育デザインを策定してから17年経過し、内容等についても当時とは状況が変わってきているため、本当に実施できるのか改めて考える必要があるのではと思っていますし、学力の向上についても継続して実施して頂いております。村費負担教員についても、継続して実施していただいておりますが、学生寮に関しては実施するのは厳しい面もあると思っております。策定された内容を全部やるのかどうかも含め、見直す時期にきていると思っております。保幼小中一貫教育の体制もできておりますが、東通学園として目標に向かってスムーズに取り組んでいけるのかというところが難しいところであると思っております。各施設において研修や意思統一を図っていることとは思いますが、まだちょっと生きていないところがあるのではないかと、学校訪問等を通じて感じることもあります。しかし、奨学金等、実施されているものもあると感じております。

○議長：村長 越善靖夫

まず、教育デザインの進捗状況について、ひとつのテーマで話していただいたが、学力の向上や中学校・高校卒業後の進路、また、保護者の教育意識の向上にも全部つながっていません。

学力の向上については、小学校・中学校の学力の現状は、どのようになっているか。また、学力の向上について、東通村では、幼小中一貫教育、少人数学級、村費負担教員の配置等、他市町村と比較しても手厚い施策を実施し、併せて予算も措置しているが、このような教育施策を実施することにより、子ども達の学力は着実に上がっているか。

そして、英語教育について、村では、小学校1年生から英語活動を実施しているが、東通中学校の英語科の成績に、着実に反映されているか。

村費負担教員の配置について、村費負担教員の評価をどのような形で実施し、評価の低い教員に対しては、どのような対応をしているか。

そして、これらは教育デザインの進捗についても一貫性があるので、それも含めて話をしていきたい。

○奥島教育長

デザインの30の事業について進捗状況を説明します。平成17年に策定したデザイン30事業のうち、現在実施しているのが19事業、一時中断しているのが2事業、未着手・未検討が9事業です。

一時中断している事業は、子どもセンター、検定も一時中断しています。未着手の事業は、移動図書館導入、1クラス2教諭制度、学校訪問看護システム、生徒寮設置、住民参画組織構築、県内・県外学生寮サポート、学校情報公開、幼小中一貫教育については実施していますが、5歳児の小学校1年生の授業は未着手です。その他の事業は実施しております。

○議長：村長 越善靖夫

只今、教育長から教育デザインの進捗状況について説明があったが、これについて、皆さまから何かございましたらどうぞ。

○北川委員

教育デザインについては、何年かに一回見直ししていくことが必要であると思っております。最初にあげたものを達成できるまで続けるのではなく、現状に合わせて進めていくべきだと考えております。そして、やっと最近、小学校とこども園との連携もできてきているので、幼小中一貫教育もこれからではないかと感じています。学習状況調査の結果を見ると、平成24年あたりをピークに、学力が下がっていますが、これからではないかと思えます。

○橋本委員

私も、最近、様々な取組みが動きだしてきているような気がします。それが、学力向上にもつながってきていると思えます。小中一貫教育、学力向上に関しては、学校で行っている体験授業、生徒の成長具合、進学に対する考え方が変わってきていると思えます。中学3年生で、埼玉大学との交流に参加した生徒が、自分も将来教師として働きたいという目標を持ったり、それ以外の生徒も、一生懸命勉強をして、将来に向かっていく傾向があります。中学生に関しては、勉強と部活の両立の結果が、中3の学力テストの結果の向上に繋がっているのではないのでしょうか。

オブザーバーである教育委員会事務局に、大変申し訳ないですが少し聞いても良いのでしょうか。

○議長：村長 越善靖夫

教育デザインに関しては、教育委員会事務局に当然説明していただくものであるので、遠慮なく聞いてください。

○橋本委員

我々も学校から情報はいただいておりますが、中身についてまで知り得るものでありませんので、急で大変申し訳ありませんが、畑山先生に教えていただきたいのですが。

中学校で、家庭学習や実習のフォローなど、いろんな取組みをしております成果が出ていると

と思いますが、取組みと成果について教えていただきたい。また、英語についての新たな取組み方と成果について教えていただければと思います。

○畑山教育指導課長

東通学力向上プランでは、家庭学習として1日1ページの「ひとり勉強」を子どもに任せて行っています。曜日で教科を決めていて、教科担任がチェックしています。学級担任と教科担任が組んで、生徒の知識の習得からアウトプットまで取り組んでおります。

数学が課題ですが、T3（3教員）まで入っていたところをT4（4教員）にして、手厚いサポートをしています。

ワンアップタイムとしては、毎週水曜日、数学・社会・国語について、各学年を全職員で対応し、応用・中間・基礎の3つのクラスに分けて指導したり、個別指導を行い、取組みの成果がでてきております。

英語に関しては、アウトプット（発表）が弱いです。ブリティッシュやニュージーランドの準備だと理解させて、コミュニケーション活動を行っており、成果がでてきています。

○議長：村長 越善靖夫

本来であれば教育委員会の会議で、実施状況を説明し、委員から意見を聞きながらやるべきことを議論してもらう内容である。

学力状況については、平成24年をピークにぐっと下がっているが、何があったのか。

○奥島教育長

中学校に関しては、小学校から中学校になるとき、「楽しい英語」から「読み書きする英語」に変わるため、中には関心がなくなる生徒もいます。ステップアップデーなど、学びに向かう力をつけることも取り組んでいます。

小学校については、村費負担教員のTT（ティームティーチング）で算数の授業をやったが成果が出でおらず、他の教科についても成績が上がっておりません。また、漢字検定にも力を入れて取り組んでおり、学ぶ意欲と読み・書きの力が身につけております。

○議長：村長 越善靖夫

成績がいきなり下がっている原因をもっと調査しないと子ども達がかわいそうだ。都会の子どもたちと同じ学習環境で、世界に通じる子どもになってほしいと思っている。中学校・高校卒業後の進路も影響してくる。これからどうするのか、意見を出し合っていただきたい。

○鈴木教育長職務代理者

現代の子どもたちは、スマホの普及により本を読まなくなりなっていると言われており、読解力が低下している。学校の先生方にはもっと面白い授業をしてほしいし、村に一般の人も入れる図書館があれば良いのでは。それが、家族の話題が増え、知識の修得につながると思います。学校の先生だけでなく、村全体で環境を整え、親も本を読まない子どもの意識も変わらない。読解力は、英語力、数学の応用にもつながっているのではないかと考えて

います。

○議 長：村長 越善靖夫

行政はどこまで親子の関係に入れるのかという問題もある。そして、図書館に関しては、一般の方の図書館という意見であったが、子どもたちのために学校図書も設けています。必要性は感じていますが、点在する29集落をやっと統合した経緯もあるので、今の意見も踏まえ、検討していきたい。そして、義務教育の中で、東通村でも東京の子と差がなく教育を受けられるように、我々がしっかりと支えていけるよう考えなければならない。

○大槻委員

先日学校訪問へ行った際、中学校でワンアップ授業をやっていました。習熟度別に3クラスに分かれて、いっぱい先生が張り付いてやっていたので、村費負担教員がいなければできないと感じました。

先日テレビで、平成25年から子どもたちの手にスマホが入りやすくなったと報道がありました。それが全てと限られるものではないでしょうが、小学校・中学校のアンケートを取ると、スマホを持っている割合が高いようでした。学校でもやりすぎないように指導はしているでしょうが、管理する親の方が子どもよりスマホの操作がわからないということもあります。こういうことも、学力テストの結果につながっていると思われます。

10年前だと、高卒で就職するのが王道だったのかもしれないが、最近では、普通のように大学・専門学校の道を選んでいる子が多い中、東通科でいろんな事を学んでも、高校・大学卒業後の就職で、商工業の力不足でもあり、おかしいと思っていますが、村に戻ってくるという選択肢が無くなってくるのでは。電力会社や六ヶ所の日本原燃、役場に就職することはあるが、ふるさとが好きだから村に帰って何かをやるために進学するという目標がある子どもたちはほとんどおりません。子ども達が、村に帰ってきて何かをしたいとモチベーションを上げるような何かがあってもいいのかなと思います。役場に入るという選択肢もありますが、例えば、漁業法人・農業法人を立ち上げてみようとか、選択肢があれば、子どもたちにとって良い未来が見えてくると思います。

○議 長：村長 越善靖夫

保幼少中一貫教育の最たるものが、5歳児に小学1年生の学習をするという教育デザインであり、基本方針のもとしっかりと進めていかなければならない。しかし、私は教育者ではないので、教育は教育の現場に任せるとしても、教育の現場でできないことを、行政がサポートしていくということが一番大事である。新たな挑戦をしていくことは大事である。

子どもは、親の背中を見て育つものだが、漁師にはなりたくないと思う子どももいる。しかし、漁師になるだけが、漁業じゃなく、農業も同じ。幅広い選択肢があることを子どもたちに教えなければいけない。

○鈴木教育長職務代理者

私もデザインに携わりましたし、こういう事をやりますよとなった時に不安もありました。自分たちが子どものころは、教育デザインのような手厚いサービスを学校から受けておりません。保護者も無関心な訳ではないでしょうが、関心のかけ方がわかっていないのでは。しかし、みんな有り難さをわかっていないような気がします。制服にしろ、昔は買ったり、もらったりしていました。扶助や補助を受けて揃えてもらっているというありがたさがないのでは。地元の人意識が薄い気がします。他方で、このような東通村の学校サービスを話すと、「すごい！そんなところまでやってくれているんだ！」と言われます。東通の教育を受けて、将来帰ってこれなくても、東通の教育を受けてきたから今の自分があるという自覚も必要ではないでしょうか。親や子どもに、特別な環境で学んでいることを伝え、内面から実感させることによって、今後の村や学びに対する考え方が変わってくるのではないかと考えます。

○議長：村長 越善靖夫

これまでも、学校とPTAの方々との話し合いの場を設けていると思いますが、これから、父兄の方との話し合いの場をどのように設けたら一番良いのかを、皆さんで考えてほしい。PTAとしっかりと議論していただきたい。保護者の教育に対する意識を高めるために、どうしていくのかということも議論することも大事である。

村費負担教員の配置について、評価をどういう形でしているのか、またどういうふうに指導しているのか、教育長にお聞きしたい。

○奥島教育長

教員の指導について、学校現場で自分の具体的な目標を立てて、村費教員の評価についても同様にしてもらっております。今年の取り組みがどうだったかというものは、教育委員会にあがってきます。その他、村費教員は学校を卒業したばかりの若い先生が多いので、実際の授業の指導については、春は全員集めて研修します。また、学校での研修や、指導課でも場を設けたり、青森県やむつ市教育センターで行われている研修にも出しております。

研修の参加状況については、畑山先生より説明をお願いします。

○畑山教育指導課長

村費負担教員の研修参加状況について、必ず最低1回は外の研修を受け、スキルアップをお願いしています。毎年、県のセンターで、教科の研修、SNS生徒指導の問題、その他校内研修を行い、先輩の先生からのレクチャーも受けております。

教育委員会の指導課としては、英語であれば研究授業を学校で参観し、終わった後に研究協議を設け、授業で何が良くて、何が駄目で、こうすれば子どもたちが伸びるという指導、助言などを行っています。

○議長：村長 越善靖夫

中学校・高校卒業後の進路について、教育委員会で調査しているのか。教育デザインの効果検証、大学の進学状況等について、把握しておくべきではないかと思いますが、その点についていかがでしょうか。

○奥島教育長

大学進学を調査しています。過去5カ年の、高校卒業後の進学率については、短大以上30.8%、医療系（6年制大学）0.35%です。

○議長：村長 越善靖夫

個人情報の問題もあるが、大学卒業後、どこに行っているのか把握するべきである。

○奥島教育長

高校に調査依頼はしているが、個人情報の関係で把握するのは難しいです。調査について大館次長に説明をお願いします。

○大館参事・教育次長

今年の7月に、村の子どもたちが通っていた高校全てに対し調査を行いました。名前は出せないということで、人数のみ回答を得ております。過去5年間分で、毎年60名程度卒業し、進学は14人から20人という状況です。

○議長：村長 越善靖夫

子どもたちの進学先について、個人情報なので公開できないのはわかりましたが、調査の方法を考えなければならないのではないかと。

○北川委員

会議の場でも報告は受けております。まるっきり報告がないというわけではありません。

○議長：村長 越善靖夫

中学校の先生方も教え子の進路は全部わかっていると思うが、教育委員の方々はどうか。

○鈴木教育長職務代理者

集落が違うので、情報はあったとしても、その年に30人いるとして、個人的なつながりで、子ども達の進路を知ることはあっても、全て網羅するのは難しいです。

○大槻委員

自分の娘も高校3年生だが、8割が大学へ進学です。今年は最後のセンター試験で、みんなピリピリしています。土日学校に出て勉強しているのは当たり前で、既に進学先が決まっている子も半分います。



○議長：村長 越善靖夫

高校の卒業後の進学率を把握する他に、どこの大学に何人進学したのか、何学部なのか、中学校でも把握していただきたい。それが、小中学校の方針や生徒の今後の進路にもつながる。

○北川委員

村として、教育に力を入れていますという事を示して欲しいです。効果的だと思うのが、村長や副村長が時間をつくって、学校を訪問することで、学校長はじめ先生方にも緊張感が出るだろうし、また来ていると思えば、勉強にも力が入ると思います。学校行事の他にもちよこちよこ学校を訪問することで、「村は学力に力を入れているんだ」ということが、子どもたちにも直接伝わると思います。

○議長：村長 越善靖夫

時間を作るのは当然の話で、私が行く事は可能だが、学校側が困らなければ良い。授業を参観することも一つの方法だと思うが、教育長はじめ学校現場でどう思うかにもよる。

○鈴木教育長職務代理者

告知無しの抜き打ちで来ていただけると、学校側もありのままを見せられるので、それを評価していただきたい。中学校もいろんな取り組みにより学力が向上してきているので、小学校も中学校とうまく連携していけば、親も中学校に入れば大丈夫だなと感じるのでは。これから小学校の成績も上がってくるのではないかと。それにより、家庭でも親子で進学先や就職先を話すきっかけになると思うので、後押ししていかなければならないと思っています。潜在能力は持っていると思います。年によって差はあると思いますが、こども園からの取組を継続することによって、必ずレベルアップすると信じています。

○議長：村長 越善靖夫

文科省では、6・3制を破ることはできないので、自主的に各団体の考え方ということで、幼小中一貫教育の中で、5歳児に1年生の勉強をさせるというデザインは認められており、教育デザインの中で1番大きな課題でもあり、斬新な進め方である。ぜひ、どんどんと進めていただきたい。また、新たな挑戦をしていく中で、教育デザインを変えていかなければならないということであれば、見直すことも大事である。

学力の向上について、生徒たちの励みになるものがあればいいと思うが、教育現場での話になるので、よろしくお願ひしたい。

卒業後の進路については、地元就職先がなかなかないという問題がある。村の職員を採用募集しても大卒者がなかなかいない。父兄にも説明や情報提供することで、子どもたちにUターンしてもらえるように、追跡調査なりしなければならぬと考える。

保護者の教育意識向上について、本人たちの意識の問題もありますが、行政、教育現場がいかに連携していくかということ、わかりきっていること。しかし、なかなか難しいとこ

るもあるので、行政としてもPTAの集りや、教育関係の講演会などを通して、支えていく事はできるので、みんなで一体とならなければいけない。教育委員会として、学校に対してPTAをどうしてほしいとも言えないので、教育委員会としてどうするか考えていただきたい。足りない部分については、行政がしっかりと支えていきます。

これを踏まえて、来年度の財政に関しても、反映させていかなければならないところもあるので、話を聞きながら進めていきたい。

村長は学力向上についてばかり言っているとされるけど、学力向上はしつけにも関連してくる。

教育長から学校の現場に対して、教育デザインに関してきちんと伝えていただきたい。そぐわないこともあるだろうが、教育デザインが、7、8割進んでいれば、もっと子どもたちが大きくなると思う。

早く、5歳児に小学1年生の教育をするように、こども園ともしっかりと議論していただきたい。そのためには、先生を増員し配置させなければいけないのは承知しています。

#### ○奥島教育長

現在、こども園では小学校の英語の基礎をやって頂いていますが、今の学校教育制度の中では、5歳児から中学校3年生の教育課程にのっとった教育課程、学習指導要領を編成する作業が出てきますので、今の私たちの力では、まだまだ時間がかかります。

#### ○橋本委員

先日のニュースに、むつ市の小学生の吹奏楽部が出ていました。校内の部活動ではなく、校外のクラブ活動化となっています。野球や陸上も同様。先生はノータッチで、一般の人たちが指導しています。東通はスクールバスの時間もあり、練習は3時間程度です。しかし、県内ほとんどがそのような形態になっており、村でもそのような形態になってくると思うので、行政でも組織づくりをしていってもらえないものか。

#### ○議 長：村長 越善靖夫

その件に関しては、学校現場や教育委員会と方向性を詰めていただきたい。その上で行政としても検討します。

いろいろとご意見を賜り感謝いたします。大変、有意義な意見交換を行うことができました。意見交換した内容は、まずは、早急に事務レベルで調整し、当初予算への反映や今後の行政に反映するようにしてください。

#### ○議 長：村長 越善靖夫

続いて、「議事(2)今後のスケジュールについて」事務局より説明いただきたい。

#### ○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

資料2をご欄ください。令和元年度、本日会議を行いました。予算反映については、来週早々に教育委員会の予算査定があり、その後、村長査定がある。来年度については、また同

時期に会議を行っていきたいと考えております。

○大槻委員

総合教育会議と、協議・調整が一緒になっているのには何か理由があるのですか。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

本会議自体が、協議・調整の場になっております。首長と教育委員会の協議・調整の場ということであります。事務執行に関しては事務局になりますので、予算の関係は、財政で行っている予算査定に、大前提としてここでの協議調整内容が反映されているという理解をしていただければと思います。

○北川委員

村として教育に力を入れるのであれば、教育委員会で最低限必要だという要望を出しているの、あえて査定は必要ないかと思いますが。

○議長：村長 越善靖夫

予算に関しては、必要なものは必要なものとして査定しています。しっかりとした要望がなされているとそのまま通るということでもあります。

○橋本委員

この会議に学校の長は入れることはできないものか。学校長がいれば、知り得る情報も聞けるのではないかと思います。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

この総合教育会議は、首長と教育委員との協議・調整の場と法律で決められております。本会議は、これまで教育部局と行政部局が分断されていたものを、一緒の場で協議をすることによって良い方向に持っていこうという趣旨でやっております。ただ、オブザーバーとして要求があった場合、会議に入っていただくことは可能です。また、教育デザイン策定委員であった方を有識者として入れることも可能です。

○議長：村長 越善靖夫

「議事（3）その他」について何かありますか。

○鈴木教育長職務代理者

今回、案件を見ますと3件ありますが、こちらでも議事について、いろいろ準備しているので、案内や資料を早くいただきたいし、変更があった場合は連絡いただきたい。

そして、知識や知力があっても学力がなかなか伸びないという子も中にはいるだろうから、一喜一憂しないで、成果が何年か先にでてくるかもしれないし、年代でも違ってくると思います。先生方も教育方針に基づいて一生懸命取り組んでいると思うので、温かく見守ってい

きたい。村では教育を最重要課題としているので、予算査定にも反映していただきたい。

○議 長：村長 越善靖夫

教育デザインは、策定してから17年経っています。子どもたちの学力だけでなく、知力・気力も大事だということもわかる。予算については必要なものはきちんと通しているのご理解いただきたい。

その他、特にご意見等が無いようなので、これにて議事を終了し、進行を司会に返します。

(5) 閉 会 司会：経営企画課 地域戦略G 総括主査 西谷 聖子

<議事録の署名>

令和 1 年 12月26日

議事録署名者

奥島涼子

議事録署名者

鈴木真治